

Leica cryostat 『CM3050s』 利用規程

2011/9 細胞生物研究室 CM3050s 管理担当 助教 原

1. 使用許可について

本機器のご利用は、形態系利用者登録をされた方が対称となります。また、機器保守のため事前登録制になっております。本機器を使用して頂くには、当研究室の管理担当による使用説明を受け、事前に登録する必要があります。CM3050s の利用希望者で、未登録の方は細胞生物 助教 原（内線 9021）まで御連絡下さい。

2. 使用時の予約方法について

- (1) 予約は原則として前日の 17 時までに細胞生物学的研究室(M1-561)の予約掲示板に記載してください。利用可能時間は平日の 9 時から 18 時までです。
- (2) 予約は1 人 1 日 3 時間までとなります。
- (3) 予約開始時間から連絡が無く、30 分経過した場合はキャンセル扱いとします。尚遅れて使用を開始された場合の延長はありません。
- (4) 利用者管での名義貸しは禁止です。

3. 標本の作成について

- (1) ヒト病理試料や感染実験試料の使用は厳禁とします。
- (2) 試料サンプルの置き忘れに注意してください。確認が取れない場合はこちらで処分することがあります。
- (3) 同時に顕微鏡を利用希望の方は、その旨を御知らせ下さい。
- (4) スライドガラスや OCT コンパウンドなどの切片作成に必要な消耗品や試薬等は各単位で用意してください。

4. 利用後の手入れと確認について

サンプル作成後は以下の点を利用前の状態にしてください。

- ① 庫内のゴミの撤去 (OCT コンパウンド, 氷, アルミ箔, モール等)
- ② OT の設定解除 (Key ボタン)
- ③ CT を -18℃へ設定

- ④ 試料台を奥へ移動（「↑↑」ボタンを押し、試料台を奥へ送る）
- ⑤ マウント台の掃除（OCT コンパウンドなどの除去）
- ⑥ クライオスタット周辺の掃除（上や横の台など）
- ⑦ 顕微鏡を利用された場合は、顕微鏡の電源解除、ステージの清掃

5. その他諸注意

- (1) 各研究単位所属の利用者が 2 名以上の場合は、所属利用者間で使用責任者を決めて報告してください。トラブルやメンテナンス・故障などの連絡事項が合った場合には責任者宛に連絡致します。
- (2) 使用中に不具合が生じた場合には、そのまま速やかに細胞生物学研究室の教室員まで御連絡下さい。

6. ランニングコストについて

各単位の使用状況によりますが、アンチロール板などの消耗品やメンテナンスにかかる諸経費については、細胞生物学研究室（阪上単位）が負担します（将来的には、利用者各単位にも負担して頂く可能性がありますのでご承知おき下さい）。

細胞生物学研究室 CM3030s 担当：原， 玉木， 深谷， 勝又（内線 9021）

*利用者の皆様が気持ちよく利用できますようご協力よろしく御願ひ致します